



2025年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社アクリート  
代表者名 代表取締役社長 株本 幸二  
(コード番号：4395、東証グロース)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 敏晴  
電話番号 050-5369-3777

### 業績予想（連結・個別）の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえて、2024年2月14日付「2023年12月期決算短信（日本基準）（連結）」にて公表した2024年12月期通期（連結・個別）業績予想（2024年1月1日～12月31日）を修正することといたしましたので、お知らせいたします。また、2024年12月期第4四半期連結会計期間において特別損失を計上する見込みとなりましたので、合わせて下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 通期業績予想の修正について

###### (1) 2024年12月期通期連結業績予想の修正（2024年1月1日～12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,319	433	428	224	39.35
今回修正予想 (B)	6,340	330	330	84	14.74
増減額 (B-A)	△979	△103	△98	△140	—
増減率 (%)	△13.38	△23.79	△22.90	△62.50	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	5,433	310	305	33	5.87

###### (2) 2024年12月期通期個別業績予想の修正（2024年1月1日～12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,684	404	275	48.30
今回修正予想 (B)	4,200	380	240	42.13
増減額 (B-A)	△484	△24	△35	—
増減率 (%)	△10.33	△5.94	△12.73	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	3,643	343	90	15.86

## 2. 修正の理由として

この度、当社が業績予想の修正を行った理由としては、期初に想定していた株式会社ズノーの連結子会社化の時期が予定よりもずれ込み、2024年12月となったために連結売上高において数値に差異が生じたこと、また下記3に記載の通りに当社連結子会社であるベトナム法人の Viet Guys J.S.C.において顧客関連資産の減損損失を計上することがその主な理由となります。

業績予想の修正時期がこの時期となったのは、当社単体決算においては特に2024年12月期下半期に前年を上回る営業成績を計上していたために、売上高につき、上記のような理由がありながらも、修正額が確定出来ずにいたこと、また、Viet Guys J.S.C.において計上していた顧客関連資産の減損額についても、様々な観点からその算出の検討を行ない、また今回発表した中期経営計画における中長期的経営ビジョンにも照らし、かつ新たな次代のアクリート構築のためにも、過去の経営陣による施策に関する総括を行っておくべきとして、減損額の算出に時間を要した為であります。

※本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 3. 特別損失の計上について

当社連結子会社の Viet Guys J.S.C.においては、現地での競争激化による販売単価の下落などにより、収益性は低下傾向にあり、そのため、当初の計画値の達成が難しいとの判断もあり、将来収益を保守的に検討した結果、連結決算においては、Viet Guys J.S.C.の顧客関連資産の減損損失を425,000千円計上する見込みであり、親会社株主に帰属する当期純利益に対しての影響額は実質174,000千円となる見込みであります。尚、この減損額の計上は中期経営計画における事業の国際化戦略に沿ったものでもあります。

つきましては、結果として当社連結決算の親会社株主に帰属する当期純利益として84,000千円になりましたが、これも前述いたしましたように、2025年12月期を起算年度とした中期経営計画における財務基盤の改革の一環として行ったものであります。

以上